

田原市

あなたと議会を結ぶメッセージ

議会だより

No.77

令和2年11月1日号

今月の渥美半島の花
「アルストロメリア」



令和2年第3回定例会 (8/31～9/28)

- 定例会で決まったこと 2
- 令和元年度決算 4
- 議案一覧・主な質疑 6
- 一般質問 8

その他

- 議会の活動 13



秋空のもと、元気に運動会

「東部パワー2020 勝利を求めてつっ走れ!」をスローガンに開催された、田原東部小学校区合同運動会で力強いガッツポーズを披露する298名の児童の皆さん (インタビュー14ページ)

設置などを進めた 決算を認定

令和2年 第3回

定例会 (8月31日～9月28日)

こんなことが決まりました

市長提出議案	18件
議員提出議案	3件

令和2年第3回定例会を8月31日から9月28日まで開催しました。

令和元年度決算認定を含む市長提出議案18件を、いずれも原案のとおり同意・可決・認定しました。

また、議員提出議案の意見書3件を採択し、国の関係機関に送付しました。

▷関連4～7ページ

決算額
歳入総額
441億9291万円
歳出総額
429億5426万円
(一般会計・特別会計・
企業会計の合計)
※万円未満切り捨て

9月16日、17日に予算決算委員会を開催して決算内容を審査し、本会議最終日にすべての決算を認定しました。

令和元年度決算を
認定しました

議案第87号令和元年度一般会計歳入歳出決算認定ほか6件



小中学校空調設備 令和元年度

議案第83号令和2年度一般会計補正予算（第5号）

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策補助金を含む補正予算を可決しました

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の取り組みを行った中小企業、個人事業者等の補助を行う田原市・渥美両商工会への補助、避難所への応急生活物品等の整備、小中学校への感染症拡大防止対策物品を整備する費用などが盛り込まれました。



議案第94号令和2年度一般会計補正予算（第6号）

高齢者などのインフルエンザワクチン予防接種の費用が無料になります

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行対策として、高齢者などがインフルエンザワクチン予防接種を希望する場合、令和2年度に限り、自己負担なく無料で受けられるようになります。



一般会計

歳入総額 313億6735万円

歳出総額 301億7335万円

市の会計のうち、基礎的な経理を中心とした会計です。

令和元年度の予算は主に次のように使われました。主なもののため、合計は一致しません。(万円未満切り捨て)

令和元年度決算を認定

市長は、翌年度予算を決める3月の定例会までに、前年度の決算について議会の認定を受けなければなりません。

9月16日、17日の2日間にわたり開催された予算決算委員会において決算内容を審査し、本会議最終日に全ての決算を認定しました。

(質疑は予算決算委員会でのもの)

市税収入未済額の減少

市税の収入未済額が、前年度に比べて大きく減少した要因は、

滞納繰越額の減少と、不納欠損処理額の増加が要因。

不納欠損額が増加した要因は、不納欠損処理した人のうち高額滞

納者の割合が多かったことが要因。未収金を増やさないための努力は、

財産調査を徹底し、差押え実績を上げるように努めた。

マイナンバーカードの普及と推進

普及と推進の取り組みは、

市民まつり、確定申告会場、市民課窓口などでの申請用写真の無料

撮影サービスや総務省マイナポイント事業と連携した啓発チラシの

全戸配布など、取得を促した。普及の取り組みの成果は、

年間800枚程度だった交付枚数が、昨年は1548枚と倍増した。



総務費

28億8581万円

シティセールス推進事業
(ふるさと寄附金返礼業務など)
5246万円

親子交流館に総合相談窓口を設置

親子交流館(すくっと)に設置の総合相談窓口の取り組み状況は、

土日祝も含めた週6日間の体制で207件の相談対応を行った。そのうち土日祝は50件だった。

平日以外の対応の利点は、来館した保護者のちょっとした悩み事に対応でき、平日同様の支援

が可能になった。いつでも相談できる安心感を提供できるように

なったことが大きな利点である。

家族介護用品の支給

介護の経済的負担を軽減する事業として重要だが、周知の方法は、

毎年、広報たはら4月号のシニアの広場で案内を掲載している。

助成券がもっと活用されるには、介護保険で様々なサービスがある

が、それ以外で考えられるものがあれば活用を考えていきたい。



民生費

84億6199万円

認定こども園整備支援事業
(認定こども園等施設整備補助など)
3億9140万円

不法投棄防止対策事業

不法投棄を防ぐために実施した取り組みは、

不法投棄された場所、されそうな場所への啓発看板や監視カメラの

設置、週3回の巡視、広報たはらなどで啓発を行った。

不法投棄しにくい環境を作ることが必要では、

常にきれいにしておくことが事前防止にもなり、必要である。引き

続き地域と連携して情報発信なども行い、不法投棄を減らしたい。

斎場運営事業

新斎場への移動手段の協議結果は、

市では8人乗りと24人乗りの2台の霊柩車により霊柩車業務を継続

して行うことを説明した。使用方法や予約方法の協議は、

令和3年4月から運用開始のため、本年度検討している。



衛生費

41億9772万円

斎場整備事業
(田原斎場新築工事など)
7億3626万円



農林水産業費
24億6690万円

多面的機能支払事業
(多面的機能支払交付金など)
2億966万円

環境保全型農業支援事業

問 イノシシ対策として行った新たな取り組みは。

取り組みは。

答 田原市鳥獣被害対策協議会を設立し、国・県の補助金を確保して捕獲者へ報奨金を支出した。また、県設立の渥美半島野生イノシシ捕獲根絶協議会へ参画し、根絶に取り組んでいる。

問 捕獲数が平成30年度の278頭に對して令和元年度は477頭と大きく伸びているが、その要因は。

答 大きな要因として、捕獲単価を成獣1頭当たり1万円から3万円に見直しを図ったということもあるが、豚熱の蔓延により捕獲者の方が非常に危機感を持って取り組んでくださったことも増加につながっているものと考えている。



商工費
6億9957万円

中小企業活性化支援事業
(プレミアム付商品券事業負担金など)
1億7825万円

観光推進事業

問 第2回どんぶりサミットの評価は。

答 2日間で田原市内外から4万1千人の来場があり、会場内での売上のほか公共交通機関やコンビニ、道の駅などの利用による消費機会の拡大など、経済効果につながった。また、特産物の紹介、SNSによるイベント内容の拡散、メディアでの露出などによる本市の認知度の向上、交流人口の拡大にもつながったと感じている。

問 第1回とは違う課題も見えたのか。

答 午前中に、人気の高いブースに来場者が集中した状況があったため、来場者が均等に分散するような会場レイアウトが必要であること、午後からの集客がかなり落ちたため、集客を促すために連動して行うイベントが必要であることなどの課題が残った。



教育費
46億6607万円

伊良湖岬小学校整備事業
(伊良湖岬小学校新築工事など)
4億1741万円

中高一貫教育の取り組み

問 福江中学校と福江高校の連携型中高一貫校の評価は。

答 高一生徒にとっても教員にとっても交流の広がりも深まりが見られる。

問 中高の6年間で生徒を育てることのことが、その狙いへの評価は。

答 平成28年の田原市中高一貫教育推進委員会設置以来、両校は交流の幅を広げ充実を図ってきた。小学校も含め12年間に渡り地域に根差した教育が可能になる。

図書館運営事業

問 障害者・高齢者サービスの内容は。

答 障害のある方には、資料の郵送、録音図書再生機や触る絵本の貸し出し。高齢者や高齢者福祉施設には、図書や大活字本を届けた。

問 議会支援サービスの取り組みは。

答 調査・相談、資料の貸し出しや複写、議会活動の紹介展示を行った。

特別会計・企業会計

一般会計と分けて経理する必要があるため、事業別に分けられた会計です。

※万円未満切り捨て

会計	区分	歳入総額(A)	歳出総額(B)	差引額(A)-(B)
特別会計	国民健康保険	79億7045万円	78億9413万円	7632万円
	公共下水道事業	16億7131万円	15億5557万円	1億1574万円
	農業集落排水事業	7億6064万円	6億6364万円	9700万円
	田原福祉専門学校	9666万円	9665万円	1万円
	後期高齢者医療	7億9387万円	7億9158万円	229万円
水道事業会計 (企業会計)	収益的収支	12億7073万円	12億1335万円	5738万円
	資本的収支	2億6190万円	5億6599万円	▲3億409万円

*水道事業会計(資本的収支)の不足分は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんされました。

■令和2年第3回定例会議案一覧

議案番号	77	78	79	80	81	82	令和2年度補正予算	83	84	85	86	94	令和元年度歳入歳出決算認定	87	88	89	90	91	92	93
	教育委員会委員の任命（金田真也氏）	職員の給与に関する条例の一部改正	市立学校設置条例の一部改正	斎場の設置及び管理に関する条例の一部改正	印鑑条例の一部改正	市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	令和2年度補正予算（第5号）	一般会計補正予算（第5号）	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	下水道事業会計補正予算（第1号）	一般会計補正予算（第6号）	令和元年度歳入歳出決算認定	一般会計	国民健康保険特別会計	公共下水道事業特別会計	農業集落排水事業特別会計	田原福祉専門学校特別会計	後期高齢者医療特別会計	水道事業会計利益の処分及び決算認定

議案番号 議員提出議案

意見書3	意見書2	意見書1
定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	社会資本の整備促進を求める意見書	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

今定例会では、賛否の分かれた議案はありませんでした。

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
議員の質疑・意見です

議案 No.78

職員の給与に関する条例の一部改正

問 新型コロナウイルス感染症防疫作業に関する特殊勤務手当の額の相違は。

答 作業一日につき3千円が基本。感染症患者に直接触れる場合は一日につき4千円となる。

問 どのような作業が4千円に該当するのか。

答 一般的には感染リスクの高い医師が行う診察や看護師が行う看護などがあるが、本市の場合は消防職員による救急搬送が主な作業と考えている。

問 4千円に該当する作業で「その他市長がこれに準ずると認める作業」はどのように定めるのか。

答 基準を別に設け、そこに作業内容を定めて運用していきたい。

問 条例の適用日を令和2年1月27日とする理由は。

答 改正された人事院規則の適用日に倣ったもの。

(9/7総務産業委員会)

議案 No.80

斎場の設置及び管理に関する条例の一部改正

問 新斎場の名称を「田原市斎場」ではなく「田原市田原斎場」とした理由は。

答 既に「田原斎場」という名称は広く浸透しており、条例では田原市の施設であることを明確に示すため「田原市田原斎場」とした。条文中の「使用」を「利用」に改



答 めた理由は。

問 地方自治法上の表記に合わせた。附則の「この条例は規則で定める日から施行する」とした理由は。

答 令和3年4月の供用開始を目指しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、工事の工期や備品の納期などに影響が出る可能性があり、供用開始の時期が確定できないため。

印鑑条例の一部改正

問 印鑑登録証明書のコンビニ交付の開始時期は。

答 現在システムを構築中で、工程試験の日程により変動もあるが、令和3年1月末頃を予定している。

問 コンビニ交付のサービス時間は。

答 年末年始を除く午前6時30分から午後11時まで。

問 コンビニ交付のメリットは。

答 証明書が必要な方は閉庁日及び閉庁時間でも最寄りのコンビニで取得できるようになる。市役所は窓口の混雑が緩和され、より丁寧なサービスの提供ができる。

問 コンビニ交付にはマイナンバーカードが必要だが、どのように周知啓発するのか。

答 市のホームページやチラシなどで周知し、市内コンビニにもポスターの掲示を依頼する。

(以上9/7文教厚生委員会)



小中山地区防災施設の整備事業

問 実施設計が遅れた理由は。

答 工事の施工内容の追加、部材などの仕様についてメーカーとの確認作業に時間を要したため。

問 完成の予定は。

答 小中山総合会館の旧浄化槽埋設工事や受注製作の杭の製造に予定以上の工期が必要となり、完成は令和3年6月から7月末頃の予定。

新斎場の管理運営費の増加

問 新斎場の管理運営費の内容は。

答 利用者対応業務、火葬業務、霊柩車運行業務、清掃業務など斎場運営と、機械設備の保守管理業務を包括的に委託するもの。

問 管理運営費に光熱水費などを加えた年間総事業費は。

答 概算で約1億8百万円を見込んでいる。

問 当初の予定より約4千万円高いが、その理由は。

答 ダイオキシシンへの対応のための集じん装置、冷却装置を新たに設置する必要がある、それらの保守点検・維持管理費などの事業費が増加したものの。

問 斎場を一つにしたスケールメリットによるコスト削減効果は。

答 2箇所建て替えるよりも1箇所集約して建て替える方が、建設費、運営費が削減でき、コスト縮減が図られる。

地域医療推進基金の増額

問 昨年度に引き続き、さらに積み立てる理由は。

答 今後の新型コロナウイルス感染症対策などに活用する財源確保のため。

問 新たに新型コロナウイルス感染症対策基金を設置した方が、経済対策など使い勝手が良いのでは。

答 新型コロナウイルス感染症対策として経済対策も総合的に行う必要があるが、既存の他の基金、国・県の支援制度などを活用して必要な財源は確保していく。

問 この基金で市ができることはどんなことか。

答 市民に対する感染予防対策や関係機関が取り組む感染拡大防止対策など。相談、診療、検査など医療の体制に関することは活用方法のひとつ。

(以上9/16予算決算委員会)

意見書を送付しました

9月28日の本会議において全会一致で可決し、内閣総理大臣、財務大臣などに意見書を提出しました。
※内容はホームページでご覧いただけます。(それぞれのQRコードからアクセスも可能です。)

▽新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書



▽社会資本の整備促進を求める意見書



▽定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書



※田原市教員組合からの陳情を受け、9月7日の文教厚生委員会で審議し、全会一致で可決されました。

ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

PCR検査体制の確立については

県と医師会で調整が進められており、市は側面から協力している



廣中 清介
無派不撓クラブ

田原市における新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題について



- 問** 新型コロナウイルス感染症患者発生への対応は。
- 答** 法律（※）により、患者への対応、情報管理などは県や保健所設置市が行うことになっているため、本市は豊川保健所や関係機関と連携し、感染予防のための啓発を中心に取り組んでいる。本市では患者の人権を守る落ち着いた対応と感染防止への協力を呼びかける市長メッセージの発出、相談体制の強化、防災無線や市のホームページなどでの感染防止の啓発を行った。

- 問** 啓発事業と医療体制の現状と課題は。
- 答** 啓発事業では、感染防止対策に関する情報発信に加え、高齢者や基礎疾患のある方への配慮、人権尊重と風評被害の防止、接触確認アプリCOCOAの活用などを呼びかけているが、市民自身の意識や行動の変容による官民一体の感染症対策の推進を図ることが課題。医療体制は、豊川保健所が主体となって整備に取り組んでおり、現在のところ逼迫した状況ではないと聞いているが、今後インフルエンザの流行も予想され、医療体制をいかに維持継続するかが課題と考えている。

- 問** 国はインフルエンザ予防接種の高齢者への優先接種の方針を示したが、これに対する市の考えは。
- 答** 10月から接種できるよう医師会と調整した。早めの接種の必要性を広報紙などで啓発していく。
- 問** PCR検査体制の確立について、国・県と連携して推進することが必要ではないか。
- 答** 診療所での唾液によるPCR検査体制の整備について、県と医師会で調整が進められており、市はその連携や調整に側面から協力している。



※ 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」

個人賠償責任保険事業（※）に取り組む考えは

国の動向や近隣市の状況も参考にしながら検討していきたい



辻 史子

公明党田原市議団



認知症高齢者の事故救済制度「個人賠償責任保険」について

問 県内自治体の「個人賠償責任保険事業」の実施状況は。

答 昨年11月において、県内11市町が実施しており、8市町が今年度から実施予定。

問 本市の「徘徊高齢者等事前登録制度」の登録状況は。

答 現在のところ登録者数115件で、毎年ほぼ横ばいの状況。

問 「個人賠償責任保険」に加入することで、認知症高齢者による事故などに対する家族の不安軽減のみならず、医療機関への早期受診や徘徊高齢者事前登録にもつながると考えるが、市として「個人賠償責任保険事業」に取り組む考えはあるか。

答 国の動向や近隣市の状況も参考にしながら検討していきたい。



※ 認知症の方及びその家族が地域で安心して生活することができるよう、認知症高齢者が他人に怪我をさせたり、他人の財物を壊すなど、家族が高額の損害賠償を請求されて苦しむ事態を避けるため、これを補償する保険に自治体が加入するものです。



- P 8 廣中 清介 田原市における新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題について
- P 9 辻 史子 認知症高齢者の事故救済制度「個人賠償責任保険」について
- P 10 仲谷 政弘 消防団活動について
- P 11 内藤 浩 コロナ禍における観光地域づくりについて
- P 10 小川 貴夫 コロナ禍における農・水産業について
- P 12 岡本 重明 田原市のまちづくりについて

準中型免許取得は消防団員の負担になるが、その対策は

普通免許で運転可能な小型動力ポンプ付積載車に順次更新を進めている



仲谷 政弘
自由民主党田原市議団



消防団活動について

問 消防団の現状の活動状況は。

答 令和元年度は火災17件、行方不明者捜索2件、台風警戒1件の出動があった。また、機関講習や新入団員教育、山林火災などの訓練、操法大会や観閲式、各地区の防災活動や各種行事にも参加をしている。

問 消防団が抱える課題は。

答 令和2年度は定員数730人に対し実員数729人で、基本団員が不足している分団を機能別分団員（※）45人が補っていることから、基本団員の確保が課題。また、平成29年3月に道路交通法が改正され普通免許ではポンプ自動車を運転できなくなり、準中型免許が必要となったことも課題である。

問 準中型免許取得は取得時間や金銭面で消防団員の負担になると思うが、その対策は。

答 令和元年度から普通免許で運転可能なオートマチック車の小型動力ポンプ付積載車にするよう見直しを図り、順次更新を進めている。

問 消防団員の訓練などの負担軽減の取り組みは。

答 操法大会は訓練日数などの軽減を考え、今年度、正副団長・分団長で協議し、今後の大会は小型ポンプ操法に限定し、各分団原則1車両での出場とした。また、年末夜警は日数及び時間短縮、非常呼集訓練や火災時の隣接分団待機の廃止、その他行事や運用の見直しを図っている。



※ 能力や事情に応じて特定の活動にのみ参加する消防団員。

問

輪菊の作付転換はどのように検討を進めるのか。県やJAと構成する田原市農業改良推進協議会で市場調査や事例調査などが可能か検討を進めている。

答

新たな流通・販促手段の必要性を感じている。需要減少傾向の輪菊はコロナ禍を契機に作付転換を検討する農家もあるが、転換に当たっては集荷・流通方法の確保など、様々な課題がある。

問

コロナ禍における新しい生活様式への対応や消費構造の変化を踏まえた今後の農・水産業の課題は。

答

コロナ禍における本市の農・水産業の影響と対策は。切り花類と高価な貝類の価格が下落。中でも菊は出荷制限など影響が長期化した。対策として、国の融資・補助制度の周知・利用促進を図るとともに、本市独自の支援策を実施し、支援している。

コロナ禍における農・水産業について

コロナ禍における本市の農・水産業の影響と対策は。インターネットなどを活用した新たな流通・販促手段の必要性や、作付転換は集荷・流通方法の確保などが課題



小川 貴夫
自由クラブ



コロナ禍における伊良湖岬周辺地域の活性化が必要では

伊良湖岬周辺地域の活性化策を早急に実施すべきと考えている



内藤 浩

自由民主党田原市議団



コロナ禍における観光地域づくりに ついて

問 コロナ禍において観光宿泊者数が激減し、本市経済にも影響することが予想され、観光戦略の見直しが必要と考えるが、今後の観光戦略の方向性は。

答 長期的な戦略は大きく変わるものではないが、短期・中期的にはターゲットの設定や観光ニーズへの対応など柔軟に見直しを行う必要があると考える。特に今後は3密回避という新たなニーズへの対応が重要なため、地域全体で安心・安全な取り組みを加えた地域ブランドの構築が必要と考える。



問 コロナ禍において道の駅伊良湖クリスタルポルトが休業している中、多くの観光客が訪れている伊良湖岬周辺の活性化が早急に必要と考えるが、伊良湖岬周辺地域の観光振興の取り組みは。

答 伊良湖岬周辺地域は本市の観光振興の最も重要な拠点と認識している。道の駅は早期再開を運営会社に訴え続けており、あわせて伊良湖岬周辺地域の活性化策を早急に実施すべきと考えている。伊良湖岬周辺地域の多くの観光資源と周辺事業者と連携したソフト事業や今後期待される温泉資源利活用など、一体的な観光振興に取り組んでいく。



問 セーフティーネットへの加入推進は。収入保険は関心が高まっており、農業共済組合の取り組みに協力して加入推進を図る。漁業共済は漁業組合の意向把握に努める。

答 国は収入保険や漁業共済などがセーフティーネットとなることから加入を推進しているが、その動向は。収入保険は高収益作物次期作支援交付金の申請で加入検討が交付条件で、また、次年度からトマトに対する価格安定制度が導入されるため、加入者数は増加を予測している。漁業共済は渥美漁業組合、小中山漁業組合からは漁業者の関心は低いと伺っている。

基金と市債の残高の具体的な数値目標を持っているか

財政調整基金は約40億円、市債は具体的な数値目標はないが、適正な水準に保たれるようにしている



岡本 重明
みんなの党愛知



田原市のまちづくりについて

問 令和元年度の市債残高は約280億円、財政調整基金残高が約77億円と特定目的基金残高が約70億円の合計147億円となっているが、市債と基金の残高の具体的な数値目標を持っているか。

答 財政調整基金の残高は40億円程度の確保を目標にしている。特定目的基金はそれぞれの基金設置目的に応じて積み立てるため、目標は定めていない。市債残高の具体的な数値目標はないが、財政健全化法に定める指標の活用などにより、適正な水準に保たれるようにしている。

問 令和2年度末の財政調整基金の残高予測は。

答 約40億円を見込んでいる。

問 市債残高には歯止めとなる数値が必要ではないか。

答 一概に市債残高だけで健全性が判断できない仕組みになっていることから、決算時に作成が義務付けられている国が示す指標を超えない範囲を目安にしたい。

問 コロナ禍以降の経済振興策について、今後どのように進めていくのか。

答 企業誘致の取り組みは、今後も社会・経済動向を考慮して取り組んでいく。市街地の活性化は、効果的なソフト事業でまちなかの魅力づくりを着実に進める。地場産業の振興は、事業者の経営動向や意向を把握し、新たな事業展開の創出に向けた適切な支援に結び付けていく。

問 新たな事業展開の創出に向けた適切な支援とは国や県の事業に準じるのか、田原市独自政策をもって支援策を講じるのか。

答 これまでどおり国や県の事業は積極的に活用する。その上で、必要に応じて市独自の政策も検討する。

8月21日付で「みんなの党田原市議団」から「みんなの党愛知」に名称が変更されました。

議会ホームページで本会議（一般質問）の映像を見ることができます

パソコン・スマートフォン・タブレット端末で本会議（一般質問）の映像を見ることができます。



利用方法

- ①下のQRコードかアドレスからアクセス
- ②視聴したい定例会、日程、議員を選択



www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/

スマートフォンで議会だよりが読めます

無料アプリ「マチイロ」で「議会だより」をスマートフォンでご覧になれます。

簡単な設定を行えば、議会だよりの発行に合わせて通知が届き、移動中などちょっとした空き時間にご覧になれます。ぜひ、ご利用ください。



利用方法

- ①下のQRコードかアドレスからアクセス
- ②「マチイロ」をダウンロード
- ③個人設定→お住まいの地域を「田原市」に設定



マチを好きになるアプリ



https://machihiro.town/lq/aichi_tahara

※通信料は利用者の負担となります。詳細はQRコードにてホームページへアクセスしてください。

7月30日
文教厚生委員会市内視察



田原浄化センター、東大浜ポンプ場などを視察しました。

7月20日
総務産業委員会市内視察



道の駅田原めつくんはうすのサイクリスト受入施設や小中山避難施設、温泉掘削工事現場を視察しました。

7月13日
渥美半島幹線道路等整備促進協議会



渥美半島幹線道路等整備促進協議会が開催され、大竹正章議長、岡本禎稔総務産業委員長が出席しました。

10月14日
愛知県農村生活アドバイザー田原支部との意見交換



愛知県農村生活アドバイザー田原支部の4名の方と意見交換を行いました。

10月7日
豊橋・湖西・田原市議会議長協議会要望活動



浜松三ヶ日・豊橋道路早期実現などを国土交通省中部地方整備局、愛知県に要望しました。

8月19日
市民館主事研修会受入



市役所で市民館主事研修会が行われ、議場や委員会室を案内し、議会の機能や仕組みなどを説明しました。

お知らせ information

令和2年第4回定例会（12月議会）会期

11月30日(月)～12月15日(火)

日	月	火	水	木	金	土
11/29	30	12/1	2	3	4	5
	本会議 (議案審議)			本会議 (一般質問)		
6	7	8	9	10	11	12
		文教厚生委員会 総務産業委員会	予算決算委員会		議会運営委員会	
13	14	15	16	17	18	19
		本会議 (採決等)				
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1/1 元日	2

10:00 開会

11月30日 本 会 議…15:00開会

12月8日 総務産業委員会…13:30開会

※日程および時間は変更になる場合があります。

マークの日に、一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。

—農園を始めるきっかけは。

学校には地域の方から提供された田んぼや畑があります。田んぼの横に『農場記念碑』があるのですが、それによると、「戦争が激しくなった頃、学区民の有志の力によって農場が完成された」とあります。「全国最初の給食室が設けられ、子ども達の耕す汗によって給食が開始された」ともあり、歴史のある農園だとわかります。現在も食育の観点から、多くの学年が田畑を活用させてもらっています。



—どんな野菜を栽培しているのか。

稲作は五年生が行い、今年も168キロのお米がとれました。学校の調理実習でご飯を炊いて味わうほか、ここ何年かは市民館まつりでお米の栄養をポスターにまとめ、その内容を伝えたりしながら校区の方に配付するなどの学習活動も行っています。畑は、以前は全校でサツマイモを育てていましたが、近年は学年ごとにトウモロコシ、枝豆、落花生なども植えています。野菜も学校で味わうほか、家庭に持ち帰り、家族の話題にしています。

どれも、子どもたちが「お米の先生」「畑の先生」と



呼ぶ地域の協力者やPTAが、よくお世話をしてくださっています。収穫の楽しみを体験する、自分たちで料理して味わうなどの活動ができるのも、協力者の方たちのおかげです。ゲストティーチャーとして授業に入ってもらったり、感謝の会で、子どもが作ったおにぎりや五平餅と一緒に食べたりするなどの交流もあります。

—今後の活動は。

二年前、「つながる食育」をテーマに、栄養教諭を中心とした研究の成果を県で発表しました。コミュニティ・スクール計画も現在準備中です。元気な田原東部小学校区を目指し、学校、地域、家庭がつながる手段として、この田畑を有効に活用できたらと考えています。

(聞き手：村上 誠) 令和2年9月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎0531-23-3533 FAX0531-22-5952

☞ <http://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

募集

パートさん

しその葉の摘み取り作業

内職さん

しその葉の結束・パック詰め

(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅:TEL0531-37-0447



社会福祉法人 福寿園

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3
TEL (0531)27-0008 FAX(0531)27-0828